

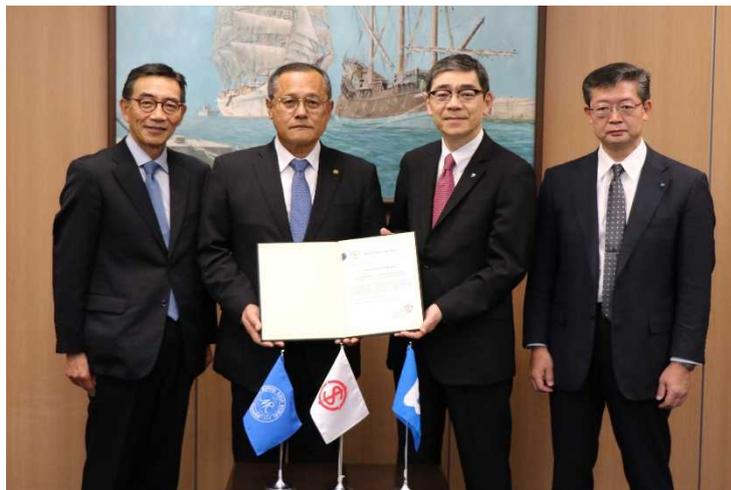


2019年12月12日

会社名 NSユニテッド海運株式会社  
代表者名 代表取締役社長 谷水 一雄  
問合わせ先 企画グループリーダー 紀平 徹  
(TEL 03-6895-6326)

### ケーブサイズバルカーLNG 燃料船 設計基本承認 AiP の共同取得について

当社はこのたび、今治造船株式会社(以下「今治造船」と)と共同で、日本海事協会(ClassNK)よりケーブサイズバルカーLNG 燃料船の AiP (Approval in Principle : 設計基本承認) を取得しました。



当社にて

近年、地球温暖化対策は国際的にも重要な課題とされており環境への配慮が求められております。国際海事機関(IMO)ではエネルギー効率設計指標(EEDI)による規制を2025年よりPhase3へとさらに強化し、これにより二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を設定された基準値比30%削減した船舶の使用が求められます。当該規制への対応として、省エネ装置によるCO<sub>2</sub>排出量削減やCO<sub>2</sub>排出量の少ない燃料の使用等、さまざまな方法が検討されており、本件は現実的な対応として考えられる環境負荷の少ないLNGを燃料とする船舶を設計開発することにより、環境への一層の配慮と規制対応を意図しております。

今回取得しましたAiPとは、本基本設計をClassNKが審査し、基準を満たすと承認されたことを示すものです。本承認取得にあたり、Dual Fuel型LNG船の建造実績をもつ今治造船の新船型「載貨重量トン21万トン型バルカー」を対象として、共同で検討を進め最適な項目を精査し集約しました。

本設計の特徴として、コスト競争力があり設置が比較的容易なType C型のLNG燃料タンクを、船橋後部に2基設置することにより、従来の基本設計を大きく変更することなく、LNG燃料による航行を可能としました。

主機には低圧デュアル燃料エンジンの採用を計画しており、LNG 燃料タンクより自然発生する気化ガス (Boil Off Gas:BOG)を無駄なく主機で利用することを可能としております。これにより環境負荷削減および運航費用の低減を図っております。

本基本設計は、IMO より求められる EEDI Phase3 CO<sub>2</sub>排出量の基準値比 30%削減を達成しております。

当社では今後も環境に配慮し来る環境規制に着実に備え、効果的なソリューションの研究を進めてまいります。



ケープサイズバルカーLNG 燃料船(イメージ)

以 上